

「みんなであっていい」

- 子どもたちのための宇佐中ブロック小中学校連携の取り組み -

1. 目的

小中学校9年間を見据えて、子どもたちが迷わないで学校生活を送れるように、宇佐ブロック3小学校1中学校が、共通理解した生活・学習ルールをもとに指導を進めていく。

2. 内容

(1)生活

あいさつ指導...気持ちよいあいさつができるよう、あいさつ指導を継続する。
時間を守る ...チャイムと同時に学習や活動を始める。
そうじ指導 ...必要以外は無言でそうじをするよう指導する。
静かな移動 ...廊下や階段は歩き、教室移動を静かにするよう指導する。
帽子、ヘルメットの着用
...安全のために、登下校時に小学生は帽子を、中学生はヘルメットを着用する。

(2)学習

授業改善 ...子どもの学び合いを保障する。 新大分スタンダード
1時間完結授業と板書とノートの一体化
姿勢の指導 ...背筋を伸ばして正しい姿勢で座る。 学習の決まり
聞き方・話し方 学習の決まり
...授業で発表者の方に体を向けて、話を聞く、聞く側の方を向いて話をする。教師に対して自分の考えを発表しているのではなく、子ども同士で学び合っているという意識を持たせる。
正しい言葉遣い 学習の決まり
...授業で使う言葉の指導を行う。授業以外と区別するよう意識させる。教師自身も区別して話しかけるよう気をつける。
家庭学習の徹底 家庭学習のきまり 自主学習のすすめ
...宿題は必ず家庭ですて来るという習慣を身につけさせる。
宿題忘れは、休み時間や放課後にさせ、必ず家庭に伝える。
家庭での読書や自主学習を位置づけ、取り組ませる。
メディアコントロール PTAでの呼掛け等

(3)取り組みの交流

学年部会・宇佐中ブロック交流の時に、上記内容についての情報交換を行い、取り組みの見直しを図っていく。